

自律的移動支援プロジェクト  
神戸プロジェクトチーム  
の活動状況

平成16年6月18日  
国土交通省近畿地方整備局

神戸地区において社会実験を実施するために必要な事項を検討する「神戸プロジェクトチーム」を発足し、その第一回会議を平成16年5月26日神戸にて開催した。  
会議に合わせて、本プロジェクトを一般市民にも周知するため、坂村教授による特別講演と自律的移動支援システムのイメージデモンストレーションを実施した。

1. 日 時 : 5月26日13:00~19:00

2. 開催場所 :

- 特別講演・デモンストレーション : スペースシアター(ハーバーランド情報センタービル(B1))
- 神戸プロジェクトチーム会議 : 神戸クリスタルタワー(3F)

3. 概 要 :

(1)デモンストレーションオープニングセレモニー(13:00~13:10)

大石技監、兵庫県知事、神戸市長等が出席

(2)特別講演(13:10~14:00)

テーマ : 「ユビキタスコミュニケーションがひらく自律的移動支援環境」

講演者 : 自律的移動支援プロジェクト推進委員会委員長

東京大学大学院情報学環・学際情報学府 教授 坂村 健 氏

(3)デモンストレーション(14:00~19:00)

視覚障害者や車椅子利用者などの他、健常者の方々もシステムを体験

体験者約600名

なお、デモンストレーションは28日(金)12:00まで実施

(4)神戸プロジェクトチーム第一回会議(15:00~17:00)



オープニングセレモニー  
大石国土交通省技監挨拶



井戸兵庫県知事のご挨拶の様子



矢田神戸市長のご挨拶の様子



坂村教授特別講演  
「ユビキタス・コンピューティングがひらく  
自律的移動支援環境」



ICタグが埋め込まれた点字  
ブロックをたどって歩く視覚障害者



専用の携帯端末から、音声や画像、  
文字情報を入手する車いす使用者

# マスコミの紹介

## 読売新聞の紹介記事 (5/27朝刊)

目 誘導 音声 人の自由な目



ICタグと携帯端末利用

### 神戸市がモデル地域

シニアチーム 公開

「ICタグと携帯端末利用」の公開は、神戸市がモデル地域として取り組んでいる。ICタグと携帯端末を利用した音声誘導システムは、視覚障害者や高齢者の移動をサポートする。神戸市は、このシステムをモデル地域として導入し、全国的に展開していく。ICタグは、道路や建物に設置され、携帯端末を通じて音声で案内を行う。このシステムは、視覚障害者や高齢者の移動をサポートするだけでなく、災害時の避難誘導にも活用できる。神戸市は、このシステムを導入することで、視覚障害者や高齢者の移動をサポートし、安全なまちづくりを実現していく。ICタグと携帯端末を利用した音声誘導システムは、視覚障害者や高齢者の移動をサポートするだけでなく、災害時の避難誘導にも活用できる。神戸市は、このシステムを導入することで、視覚障害者や高齢者の移動をサポートし、安全なまちづくりを実現していく。

### 来春、本格的な社会実験

来春、本格的な社会実験を実施する。ICタグと携帯端末を利用した音声誘導システムは、視覚障害者や高齢者の移動をサポートするだけでなく、災害時の避難誘導にも活用できる。神戸市は、このシステムを導入することで、視覚障害者や高齢者の移動をサポートし、安全なまちづくりを実現していく。

## 神戸新聞の紹介記事 (5/27朝刊)

### 障害者ら「近未来の街」体験

#### 国交省 神戸でデモ

IT (情報技術) を活用し、障害者や高齢者をはじめすべての人が移動しやすい街をつくる国土交通省プロジェクトのイメージデモンストレーションが26日、神戸・ハーバーランドのスペースシアターで始まった。専用の携帯端末を持たず、街の場所でもバリアフリー情報などを入手できる「近未来の街」を体験できる。同時に、同プロジェクトの神戸チームの初会合が神戸市内で開かれ、今後の方針などを話し合った。

「近未来の街」を体験する。ICタグと携帯端末を利用した音声誘導システムは、視覚障害者や高齢者の移動をサポートするだけでなく、災害時の避難誘導にも活用できる。神戸市は、このシステムを導入することで、視覚障害者や高齢者の移動をサポートし、安全なまちづくりを実現していく。

#### 移動支援プロジェクト始動

国土交通省が推進する「移動支援プロジェクト」が、26日神戸市で始動した。このプロジェクトは、ITを活用し、障害者や高齢者の移動をサポートする。神戸市は、このプロジェクトに参加し、全国的に展開していく。ICタグと携帯端末を利用した音声誘導システムは、視覚障害者や高齢者の移動をサポートするだけでなく、災害時の避難誘導にも活用できる。神戸市は、このシステムを導入することで、視覚障害者や高齢者の移動をサポートし、安全なまちづくりを実現していく。

#### 世界初の試みに協力を

世界初の試みに協力を。ICタグと携帯端末を利用した音声誘導システムは、視覚障害者や高齢者の移動をサポートするだけでなく、災害時の避難誘導にも活用できる。神戸市は、このシステムを導入することで、視覚障害者や高齢者の移動をサポートし、安全なまちづくりを実現していく。

# 神戸デモでのアンケート結果（1）

## サービス（情報提供項目）に関するニーズ

- ・ 主に移動中（経路上）  
緊急・災害情報、危険箇所の情報、バリアフリールートの情報（特に車いす使用者）、十字路などの交差点位置の情報（特に視覚障害者）
- ・ 主に移動中（ノード）  
バリアフリー情報（駅でのエレベータの位置など）、自分の現在位置の情報（プラットフォーム上、トイレの男女別など、特に視覚障害者）
- ・ 主に移動中（乗車中）  
走行状況（電車急停車時の原因、復旧見込みなど、特に聴覚障害者）
- ・ 主に目的地  
店舗の種類・バーゲンなどの情報、観光情報、イベント情報
- ・ その他  
情報は多くないほうが良いとの意見が多数見られた。

# 神戸デモでのアンケート結果（２）

## 技術開発に関する利用者意識

- ・ 端末の小型化（携帯電話への組み込み）へのニーズは高い
- ・ 音声での情報提供は、「街頭では聞き取りにくい」、「イヤホンで耳を塞がれるのは困る」など、否定的な意見も少なくない
- ・ 提供情報の利用者・状況に応じたレベル切替、取捨選択を希望する意見が多い
- ・ 建物内での経路検索、施設検索、マルチモーダルルート検索などの機能が要望されている
- ・ システムの安全性についての配慮を問う声が多い

# 第1回神戸プロジェクトチーム会議(平成16年5月26日)

## メンバー

近畿地方整備局、近畿運輸局、神戸運輸監理部、大阪航空局、  
国土地理院近畿地方測量部、近畿総合通信局、近畿厚生局、  
近畿経済産業局、兵庫県、神戸市、鉄道事業者 等

(座長：近畿地方整備局企画部長)

プロジェクトのトータルコーディネーターの大石技監、スーパーアドバイザーの坂村教授、竹中ナミ氏も出席

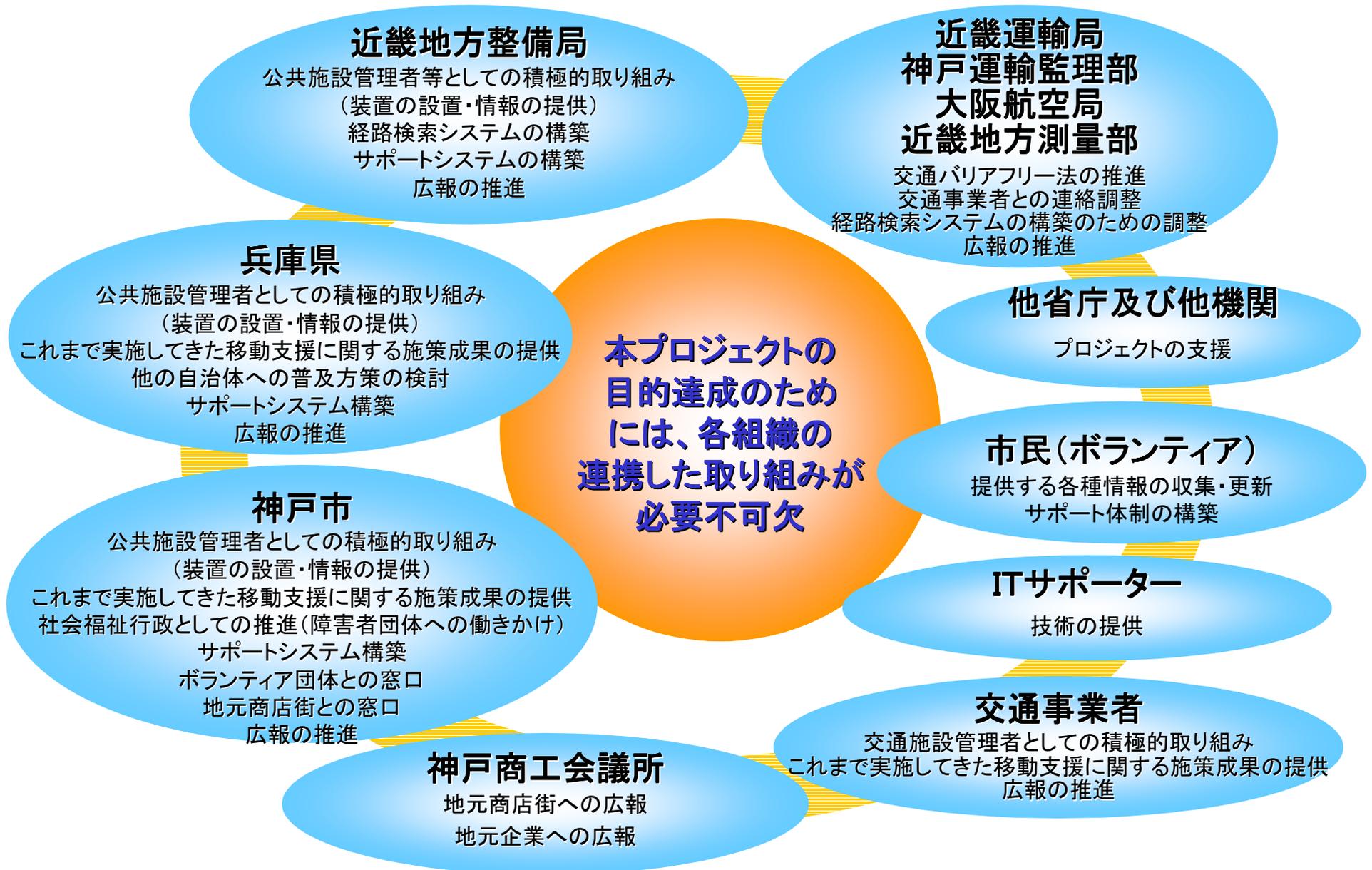
## 議事内容

実証実験検討エリア、検討事項、  
検討体制、役割分担、検討スケジュール等神戸プロジェクトの進め方について確認とともに、神戸の現状、神戸市バリアフリー情報提供システムおよび神戸市におけるピクトグラムの計画について紹介。



神戸プロジェクトチーム会議の様子

# 各組織の果たす役割



## 神戸プロジェクトチーム 当面のスケジュール(案)

- |       |                                                                                                                                                             |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6月～8月 | <ul style="list-style-type: none"><li>・システム利用者のニーズ把握（現地ヒアリング・アンケートの実施）</li><li>・神戸市バリアフリー情報提供システムの評価</li><li>・事前情報提供システムの概略設計</li><li>・プレ実験箇所案の検討</li></ul> |
| 9月    | 第2回神戸プロジェクトチーム会議 <ul style="list-style-type: none"><li>・事前情報提供システム概略設計等の報告</li><li>・プレ実験箇所の決定</li></ul>                                                     |
| 10月   | プレ実験の実施                                                                                                                                                     |
| 11月   | 第3回神戸プロジェクトチーム会議                                                                                                                                            |